

知識の復習 1

質問の中には、正解が複数あるものもあります。あてはまるものはすべて選んでください。

1. 次の「深度/圧力/体積/密度の表」を埋めてください。

深度	圧力	体積	密度
0メートル/ 0フィート	1気圧	1	x1
10メートル/ 33フィート		1/2	
30メートル/ 99フィート		1/4	
40メートル/ 132フィート	5気圧		x5

2. 潜降しながら、空間を圧平衡する必要があります耳を圧平衡する場合、一般的な方法は次のどれですか？

- a. 鼻をつまんで静かに鼻をかむように息を送り込む
- b. ツバを飲み込んだり、アゴを左右に動かしたりする
- c. 鼻をつまんで、力を入れて長く息を送り込む

3. 潜降中、圧平衡しようとしたのですが、どうしてもできません。

このような場合はどうすればよいですか？

- a. 潜降の速度を落とし、バディにもスローダウンするよう合して、もっと力を入れて圧平衡してみる
- b. 潜降をストップし、バディに合図し、少し浮上してもう一度やってみる
- c. 繰り返し圧平衡しながら潜降を続ける
- d. バディに合図し、水面まで浮上して、潜降をやり直す

4. 圧平衡の方法として、正しいのは次のどれですか？

- a. 不快感が生じる前に、早めにこまめに圧平衡する
- b. 不快感が生じ始めたら圧平衡する
- c. 痛みを感じたときだけ圧平衡する

5. 風邪をひいているときにダイビングすべきではないし、風邪薬を使ってダイビングするのもよくありません

- 正しい 誤り

6. スクーバ・ダイビングで最も重要なルールは、次のどれですか？

- a. 常に呼吸を続け、絶対に息を止めない
- b. 必ずバディと一緒に潜る
- c. 水中でも水面でも、マスクは顔につけたままにする
- d. 少なくとも数分ごとに残圧計をチェックする

7. スクーバ・ダイビングで最も重要なルールに従わないと、重大な肺の過膨張傷害(肺の破裂)になり、マヒや死に至る恐れがあります

- 正しい 誤り

8. 浮上中に体内空間に不快感が生じた場合、正しい対処法は次のどれですか？

- a. 詰まった鼻へ息を送り込みながら、浮上を続ける
- b. 止まって、少し潜降し、閉じ込められた空気が外に出るまで待つ
- c. 少なくとも10メートル/ 33フィート潜降し、それから浮上を再開する

9. バディと一緒に深度18メートル / 60フィートへ潜る計画を立てています。深度以外の条件がすべて同じであれば、空気を使える時間は深度10メートル/ 33フィートと比べて____と思います。

- a. 長くなる
- b. 短くなる
- c. 同じだ

10. ダイビング中、興味を引かれた魚を追いかけて一生懸命に泳いだら、息苦しくなっていました。正しい対処法は次のどれですか？

- a. バディに合図して、水面に向かう
- b. レギュレーターのパージボタンを使ってたくさんエアを出す
- c. 動くのをやめてひと休みし、深くゆっくりとした正しい呼吸を取り戻す

11. 淡水中で中性浮力の物体は、海水では_____

- a. 沈む
- b. 浮く
- c. 中性浮力になる

12. バディ・システムの3つの利点は、実用性、安全性、楽しさです。

- 正しい 誤り

13. スクーバ器材を選ぶときの主な注意点は次のどれですか？

- a. 適切性
- b. ブランド
- c. フィット性
- d. 快適性

14. 来週ダイビングに行く予定なので、器材を確認することにしました。セッティングしてチェックしたら、レギュレーターが前より呼吸しにくくなっているような感じがします。適切な対処法は次のどれですか？

- a. 使う前に、専門の人に点検してもらって、必要があれば修理してもらおう
- b. 使ってもいいけれど、潜る深度は10メートル/30フィートまでにする
- c. 真水で洗って、トラブルが解消するかどうか見る

15. ヨークバルブでDINレギュレーターを使う方法はありません、

- 正しい 誤り

16. 潜降、浮上、中性浮力を自由自在にコントロールできるようになるので、浮力コントロールをマスターすることが大切です。ダイビング中は浮力をこまめに調節します

- 正しい 誤り

生徒ダイバー声明：私は答えを間違えた問題についてすべて説明を受け、間違えた部分を理解しました。

氏名 _____

日付 _____

知識の復習 2

質問の中には、正解が複数あるものもあります。あてはまるものはすべて選んでください。

- ダイビングするときカラフルなお魚スレートを持っていきました。深度12メートル/40フィートでスレートを見るとスレートはどのように見えますか？
 - a. 小さく/遠くにあるように見える
 - b. よりカラフルに見える
 - c. 色がなくなったように見える
 - d. 大きく/近くにあるように見える
- 水中では、どのように泳ぐのが効率的ですか？
 - a. できるだけ速く泳ぐ
 - b. 流線形を保って泳ぐ
 - c. ウエイトを実際に必要な量よりやや重くする
 - d. 一定のペースでゆっくりと泳ぐ
 - e. 正しいトリムを維持する
- ダイビング中、寒くて身体の震えが止まらなくなりました。この場合はどうするのが正しい対処法ですか？
 - a. すぐに水から出て、身体を乾かして温める
 - b. 予定通りにダイビングを続けるが、次はもっと厚手の保護スーツを着る
 - c. 都合のよいときにエキジットして、一生懸命泳いで身体を温める
- ダイビングをしていたら予想外の流れがあって、かなりハードに泳がなければならぬ状況になりました。疲れと息苦しさを感じ始めて、呼吸が困難になってきて、パニックしそうになってきました。この場合、最初にすべきこととは何ですか？
 - a. バディに「浮上」の合図を出して、水面に向かう
 - b. バディの予備の空気源に交換する
 - c. 動くのをやめてバディに合図し、その場でひと休みする
- 私と2人のバディはダイブプランを立て、はぐれてしまった場合には、一般的なルールに従うと打ち合わせしました。もし、ダイビング中に、いつの間にかバディが2人のうち1人だけになっていて、もう1人の姿が見えなくなってしまった場合、次のどれが正しい対処法ですか？
 - a. これはバディとはぐれた状況です。

一緒にいるバディと離れないように注意しながら、水中で1分間探して、見つからなかったら水面で合流します。
 - b. これはバディとはぐれた状況です。一緒にいるバディと離れないように注意しながら、いなくなったバディの姿を最後に見た場所へ引き返し、そこで待ちます。
 - c. これはバディとはぐれた状況です。一緒にいるバディと別々に手分けしていなくなったバディを探します。
 - d. これは私と一緒にいるバディと私にとっては、バディとはぐれた状況ではありません。いなくなったバディが私たちを見つけている間、私たちはダイビングを続けます。
- バディ・システムを守るのは _____ の責任です。
 - a. バディ
 - b. ダイブマスター
 - c. 私自身
 - d. 誰の責任でもない
- バディと私はビーチ・ダイビングを計画しています。深度5メートル/15フィートあたりから始まる非常になだらかな水底の傾斜に沿って潜降と浮上をする予定です。2人とも同じようなシリンダーを使っていて、それぞれ200bar/3000psiの空気が入っています。次のように計画しています。

予備の分として50 bar/500 psiを残す。

 - 安全停止用にさらに20 bar/300 psiをとっておく。
 - メインのダイビングに使える分の空気の3分の1を使ったら、方向転換して戻りつまり、どちらかの残圧計が _____ を表示したら戻り始めなければなりません
 - a. 70bar/800psi
 - b. 145bar/1900psi
 - c. 157bar/2270psi
 - d. 170bar/2500psi
- 波立っている水面を泳いでいたら、フィンのストラップが外れてしまいました（後で、バックルをきちんと締めていなかったことがわかりました）。このトラブルに対処するには、次のどの習慣が役立ちますか？
 - a. マスクは顔につけたままにし、レギュレーターはくわえたままにする
 - b. BCDに空気を入れて浮力を確保する
 - c. バディに合図して離れないようにする
- バディと潜降を開始しようとしています。実際に潜降を始める前にとる必要のあるステップは、次のどれですか？
 - a. 耳を圧平衡する
 - b. 水面または陸上にある物体を目印にする
 - c. コンピューターがオンになっていることを確認する
 - d. バディの準備ができていることを確認する
 - e. BCDに空気を入れる
- バディと私はウェットスーツを着ています。潜降するにつれて浮力は _____ ので、 _____ 浮力をコントロールします。
 - a. 変わらない/何もしないで
 - b. 増える/BCDから一気に空気を抜いて
 - c. 増える/BCDから少しずつこまめに空気を抜く
 - d. 減る/BCDに一気に空気を入れて
 - e. 減る/BCDに少しずつこまめに空気を入れて

11. 目で見確認できる目標物や 手でさわって確認できる目標物なしで潜降または浮上すべきではありません
- 正しい
 誤り
12. 堅実で慎重なダイバーとして、浮上するときに必ずすることは、次のどれですか？
- a. 1分間に18メートル/60フィートの速度
(またはダイブ・コンピューターが指示する速度)で浮上する
 b. BCDに空気を入れてから浮上を開始する
 c. 深度5メートル/15フィートあたりで3分間停止する
 d. 少しずつこまめに浮力を調節する
13. ボート・ダイビングで、パディと私は安全停止を終えて水面に浮上しました。水面に出た後の正しい順序は次のどれですか？
- a. スノーケルに交換し、BCDに空気を入れ、ダイブマスターに"OK"と合図する
 b. ダイブマスターに"OK"と合図し、スノーケルに交換し、BCDに空気を入れる
 c. BCDに空気を入れ、スノーケルに交換し、ダイブマスターに"OK"と合図する
14. 各保護スーツの特徴はそれぞれどれですか？
- a. 空気の層とインナーウェアで身体を保温する
b. 入ってきた水を閉じ込めておけるよう、身体にフィットしていることが大切
c. 保温性はほとんどない
- ウェットスーツ _____
ドライスーツ _____
スキンスーツ _____
15. 暑い日にウェットスーツまたはドライスーツを着てダイビングするときに、ダイビング前に起こり得るトラブルは次のどれですか？
- a. 適正ウエイト
 b. エントリー
 c. オーバーヒート
 d. ハイポサーミア
16. カutting・ツールを1本だけ携帯する場合には、_____が届くところに装着するのがベストです
- a. 右手
 b. 左手
 c. 利き手
 d. 両手

生徒ダイバー声明：私は答えを間違えた問題についてすべて説明を受け、間違えた部分を理解しました。

氏名 _____ 日付 _____

知識の復習 3

質問の中には、正解が複数あるものもあります。あてはまるものはすべて選んでください。

- 潜降時と浮上時に方向感覚を失わないようにする方法のひとつは、次のどれですか？
 - a. 目を閉じる
 - b. 物体に近寄らないようにする
 - C. 目標物に沿って行く
 - d. 残圧をしっかりとチェックする
- これからボート・ダイビングをする予定ですが、緩やかな流れがあります。ほとんどの場合、最初は_____ダイビングを開始します
 - a. 流れに向かって（逆らって）
 - b 流れに乗って
 - c. どこにも行こうとしないで
- ボートからのダイビング中に方向がわからなくなってしまいました。緩やかな流れがあり、水面に出てみたらボートから離れていました。この場合には_____。ボートにたどり着けなかったり、疲れすぎている場合には、_____。
 - a. 流れに向かって（逆らって）泳いでボートの前方へ行きます／再び潜降して水底へ戻ります
 - b. 流れを横切って泳いでトレールラインをつかみます／浮力を確保し、ボートに合図して拾ってもらいます
 - c. OKの合図を出します／岸に向かって泳ぎます
 - d. 流れに乗って泳いでひと休みします／水底へ潜降して、流れに向かって泳ぎます
- 中性浮力を保ち、むやみに水底と接触しないように水底から少し距離をとってダイビングしますが、こうする理由は次のどれですか？
 - a. デリケートな水中生物にダメージを与えてしまう可能性があるから
 - b. 水底の砂などを巻き上げて、透視度が低下してしまうから
 - C. 水底と接触することでケガをする危険があるから
- コンディションを評価していて、大きな不安や心配になる要素があり、それに対処できない場合には、ダイビングすべきではありません。最終的に、自分の安全は自分自身が責任を持つものであり、ダイビングするかどうかの最終的な決定を下せるのは自分自身なのです。
 - 正しい 誤り
- 初めての環境でダイビングするときには、手順、危険、見どころなど、その環境に固有の要素を知っている経験者やプロフェッショナルから地域の環境オリエンテーションを受けることが推奨されます。
 - 正しい 誤り
- 自分の受けたトレーニングと経験の限度を超えてダイビングすることに伴う危険は、次のどれですか？
 - a. ダイビング活動の中には、すぐにはそれとわからないリスクを伴う種類のものがある
 - b. 間違った安心感が生まれる恐れがある
 - C. 限度を超えて潜ることから生じる不安に気を取られて、他のトラブルに気がつかなくなってしまう
- ビーチ・ダイビングを計画していたところ、波が高いけれど、ダイビングするのは“問題ない”とパディが言いました。しかし、私はそのような大きな波の中でのダイビングは経験もないし、トレーニングも受けたことがありません。また、そのようなコンディションでダイビングする心構えもできていません。どう返事するのがベストですか？
 - a. ダイビングすることに同意するが、いつでも引き返す準備する
 - b. 穏やかな波に対して習ったテクニックを使う
 - C. 礼儀正しく断って、大きな波のない別の場所を提案する
- 水中生物によるケガを防ぎ、対処するには、どうすればよいですか？
 - a. 動物にさわりたいときはよく知っている動物だけにする。
 - b. 手足や膝をつく場所に注意する
 - C. 保護スーツを着る
 - d. すべての生き物に敬意を持って接する
 - e. ダイビングする場所に生息している危険な性質を持つ生物について、前もってよく調べておく
 - f. 水中生物によるケガに備えて、ファーストエイドの準備をしておく
 - g. さわるのは死んだ生き物だけにする
- リップカレントにつかまってしまいました。抜け出す方法として、一般的に推奨される方法は次のどれですか？
 - a. BCDに空気を入れて、流れに向かって（逆らって）泳ぐ
 - b. BCDから空気を抜いて、水底で流れに向かって（逆らって）泳ぐ
 - c. BCDから空気を抜いて、岸と平行に泳ぐ
 - d. BCDに空気を入れて、岸と平行に泳ぐ
- 潮の干満が深度、流れ、透視度に大きな変化を引き起こす場所もあれば、潮の干満の影響をほとんど受けない場所もあります。
 - 正しい 誤り
- ダイビング・ボートに乗船するときに、名簿に名前を記入するようダイブマスターが私に言いました。その理由は次のどれですか？
 - a. 料金を支払っているかどうか確認するため
 - b. 認定番号をチェックするため
 - c. パディがいるかどうか確認するため
 - d. ダイビング後、全員ボートに戻っていることを確認するため
- 一般に、ベストのエントリー方法は次のどれですか？
 - a. ジャイアント・ストライド
 - b. バックロール
 - C. その場所に合った最も簡単な方法

14. エンジンが回っていなくても、ボートのプロペラからは常に十分に離れていなければなりません。

- 正しい 誤り

15. 流れのあるところでボート・ダイビングをしています。エントリーする船尾のところからラインが出ていて、船首にある係留ラインにつながっています。係留ラインにつながっているこのラインの目的は、次のどれですか？

- a. 係留ラインの予備
 b. ボートから離れたところに浮上した場合に、そのラインに向かって泳ぐ
 c. そのラインに沿って水底へ潜降する
 d. そのラインをたぐって係留ラインのところへ行く

21. パディと一緒に浮上したら、ボートの姿がなく、岸も見えませんが BCD に空気を入れ、水面シグナル器材を使い、パディと離れないように一緒にいるようにします。

- 正しい 誤り

17. トラブルの防止と対処法のスキルを広げるのに役立つトレーニングが受けられるコースは、次のどれですか？

- a. PADI デジタル・アンダーウォーター・フォトグラファーマスター
 b. PADI レスキュー・ダイバー
 c. PADI エマージェンシー・オキシジェン・プロバイダー
 d. エマージェンシー・ファースト・レスポンス (EFR)

18. 水面でトラブルが発生しました。最初にすべきことは何ですか？

- a. 浮力を確保する (BCD に空気を入れる、ウエイトを捨てる)
 b. 助けを呼ぶ
 c. 落ちていて、過度の運動による疲れを防ぐ

19. 水面であるダイバーがもがき始めました。目を大きく見開いていますが、何も見えていない様子で、マスクはかなぐり捨ててしまっ

ています。BCD は膨らんでいなくて、空気を入れなさいとダイブマスターが叫んでも、そうしようとしません。このダイバーは _____。

まず、_____ 必要があります。

- a. コントロールが取れています / 落ち着かせる
 b. コントロールが取れています / 岸のほうへ曳行する
 c. コントロールが取れていません / 言葉をかける
 d. コントロールが取れていません / 自分と相手のダイバーの

浮力を確保する (BCD に空気を入れる、ウエイトを捨てる)

20. 水中で意識のないダイバーに対して最初にしなければならないのは、

ことです。水面に出たら、浮力を確保して助けを呼ぶ

ことに加えて、最初にしなければならないのは、_____ ことです。

- a. マウスピースをくわえさせる / 安全な場所へすぐに曳行する
 b. 水面へ引き上げる / 呼吸しているかどうか確認し、呼吸していない場合には人工呼吸を始める

- c. CPR を実施する / 酸素を与える

ダイビング中、激しく泳いでいたので、疲れて息苦しさを感じ始めました。どうすべきですか？

- a. 少し潜降する
 b. ストップ " の合函を出してひと休みする
 c. すぐに浮上する
 d. パディの予備の空気源に切り替える

22. 意識のないダイバーを手助けする場合、呼吸をチェックし、水から引き上げて必要に応じて CPR を施した後に行うこととして、最も優先度が高いのは次のどれですか？

- a. 救急隊に連絡する
 b. ダイバーに酸素を与える
 c. 身体を温める
 d. 何が起きたか書き留める

23. あってはならないことですが、深度 9 メートル / 30 フィートあたりで潜っていて、残圧計をチェックするのをつい忘れてしまい、エア切れになってしまいました。ポニーボトルや独立式浮上ボトルは持っていません。パディは 12 メートル / 40 フィートほど離れたところにて、予備の空気源を持っています。ベストの選択肢は次のどれですか？

- a. 通常の浮上をする
 b. パディの予備の空気源を使って浮上する
 c. コントロールされた緊急スイミング・アセントで浮上する
 d. 緊急浮力浮上をする

24. 水中で意識を失ったダイバーは完全に回復したように見えたとしても、医師の診察を受ける必要があります。

- 正しい 誤り

25. 最低限、視認できる水面シグナル器材 _____ 個と、音の出るシグナル器材 _____ 個を携帯すべきです。

- a. 1,1 b. 2,1 c. 1,2 d. 2,2

私とパディは、現地で一般的に使われているダイブフラッグを掲げたフロートから 6 メートル / 20 フィート以内の水中にいます。するとボートの音が聞こえてきて、だんだん近づいてくるように感じます。

この後はどのようにしたらよいですか？

- a. フラッグが出ているのでボートは安全な距離を保つだろうから何も問題ありません
 b. ボートを操縦している人がフラッグに気付かないか、その意味を理解していない可能性があるから、音が遠のくまで安全な深さにいるべきです

生徒ダイバー声明：私は答えを間違えた問題についてすべて説明を受け、間違えた部分を理解しました。

氏名 _____

日付 _____

知記の復習 4

質問の中には、正解が複数あるものもあります。あてはまるものはすべて選んでください。

- 水中クリーンナップで、たくさんのゴミを拾って大きなメッシュバッグがいっぱいになりました。このメッシュバッグはどうやって運ばよいですか？
 a. 器材に結び付けて運ぶ
 b. 手で持って運ぶ
- ちょっと風邪を引いているがうまくやれそうな感じがするので、ダイビングしても大丈夫
 正しい
 誤り
- 激しく泳いだり、重い器材を背負って長い距離を歩いたり、暑い日に保護スーツを着ていることなどが原因の熱中症は、その要因を持っている人に心臓発作を引き起こす恐れがあり、また、他の心血管疾患がある人にとっても問題になります。
 正しい
 誤り
- ダイビング前は、_____を控えるべきです。
 a. アルコール
 b. タバコ
- 薬を服用してのダイビングは問題になる場合があるので、処方薬や市販薬に関しても、注意する必要があります。一般的に、判断力、思考、反応に影響する薬はダイビング前には服用すべきではありません。
 正しい
 誤り
- 妊娠している女性はダイビングしないほうがよいとされています。
 正しい
 誤り
- 初心者のPADIオープン・ウォーター・ダイバーとして、ダイビングしない時期が_____続いたら、PADIスクーバリピューを受けてスキルをリフレッシュすべきです。
 a. 1ヶ月
 b. 6ヶ月
 c. 1年
 d. 5年
- エンリッチド・エアを使ってダイビングするにはPADIエンリッチド・エア・ダイバーの認定を受けるか、PADIエンリッチド・エア・インストラクターの監督下でダイビングすることが重要ですが、その理由のひとつは、酸素中毒のトラブルを防ぐためです。
 正しい
 誤り
- ダイビングをしていたら、頭痛がして、気分が悪くなり、目まいがし始めました。これは汚染空気の症状ですか？
 はい
 いいえ
- 汚染空気の混入を防ぐには、設備が整っていて信頼できるスクーバ・エアステーションで充填してもらいます。
 正しい
 誤り
- ダイビング中に体内に溶け込む窒素の量に影響する2つの主な要因は、_____と_____です。
 a. 深度、時間
 b. 温度、時間
 c. 深度、温度
- 深度や時間の制限を超えてダイビングし浮上すると、体内に気泡が形成され、減圧症になる恐れがあります。
 正しい
 誤り
- ダイビングを終えたダイバーが、腕にしびれ、ヒリヒリ感、脱力感があると述べています。これは減圧症の徴候／症状ですか？
 はい
 いいえ
- 減圧症の一因になると考えられている二次的要素はどれですか？
 a. 年齢
 b. 寒さ
 c. ケガ
 d. 不健康／肥満
- ノンストップ・ダイビングとは、必要であれば_____停止せずに水面に直接浮上できるという意味です（しかし、通常は安全停止を計画に入れておきます）。
 a. ダイビングの前半に
 b. ダイビングの後半に
 c. ダイビング中いつでも
- 深度12メートル/ 40フィートへのダイビングを計画している場合、ノンストップ・リミットは深度10メートルでのノンストップ・リミットより_____なります。
 a. 長く
 b. 短く
- コンピューターまたはテーブルが指示する浮上速度を超えると減圧症になるリスクが高くなります。
 正しい
 誤り

18. 同じ深度なら、反復ダイブのノンストップ・リミットは最初のダイブより _____ なります。
- a. 長く
 - b. 短く
 - c. 同じに
19. その日に行なうすべてのダイブで同じコンピューターを使用し、他のダイバーと共用してはいけません。
- 正しい
 - 誤り
20. ダイブ・コンピューターを使ってダイビングしているときには、残りのノンストップ時間または戻り始める残圧のいずれかのリミットに達したら、方向転換して戻り始めます。
- 正しい
 - 誤り
21. コンピューターを使ってダイビングするときは、どのように潜ることが推奨されていますか？
- a. コンピューターの限度内で十分に余裕を持ってダイビングする
 - b. 自分のコンピューターとボディのコンピューターのうち、控え目なほうのコンピューターに従う
 - c. 最大深度からスタートして徐々に浅くする
 - d. ゆっくりと浮上し、安全停止をする
22. ダイビング中にダイブ・コンピューターが故障してしまい、バックアップを持っていません。どうすればよいですか？
- a. ボディのコンピューターに従ってダイビングを続ける
 - b. 浮上して安全停止を行ない、ダイビングを終了する
 - c. 予定していた時間通りにダイビングを続ける
23. 環境に配慮したダイビング・スキルを用いることが大切な理由のひとつは、後から来るダイバーのために、自然の美しさを残しておくことです。
- 正しい
 - 誤り

生徒ダイバー声明：私は答えを間違えた問題についてすべて説明を受け、間違えた部分を理解しました。

氏 _____ 日付 _____

知識の復習5

質問の中には、正解が複数あるものもあります。当てはまるものを

すべて選択してください。

1. 深度15メートル/50フィートで60分間ダイビングしました。次のダイビングでも同じ場所と深度に60分間潜りたいと思っています。どのくらい待ちは十分なノンストップ時間になるか調べるには、どうすればよいですか？
 - a. 待機して、ダイブ・コンピューターが表示するノンストップ時間を時々チェックする
 - b. ダイブ・コンピューターにプランモードがあれば、それを使う
 - c. ダイブ・プランニング用のアプリを使う
 - d. RDPテーブルまたはeRDP_{ML}をチェックする
2. ダイビング後に高所へ行くことが問題になるのはなぜですか？
 - a. ダイブ・コンピューターの表示がおかしくなるから
 - b. 空気が薄いことにより、酸素中毒の問題が生じるから
 - c. ほとんどの減圧モデルは、海拔ゼロメートルの水面に浮上するという考えに基づいているから
3. バディとノンストップ・ダイブを終えたところです。ここ数日間 はダイビングしてなくて、今日はこれ1回で終わりです。現在のガイドラインでは、飛行機に乗るまでの最小限の待機時間は：
 - a. 6時間
 - b. 12時間
 - c. 18時間
 - d. 24時間
4. 標高 _____ 以上の場所でダイビングするときには、アルティチュード・ダイビングの手順に従う必要があります。
 - a. 150メートル
 - b. 300メートル
 - c. 600メートル
 - d. 3000メートル
5. ダイビング中に寒くなったり、激しく動いたりした場合には、ダイブ・コンピューターまたはテーブルが計算したのより多くの窒素が体内に溶け込んだ状態で水面に出ることになる可能性があります。
 - 正しい 誤り
6. ダイビング終了間際に、廃棄された漁網にバディの足が絡まってしまいました。ほどいて足を自由にするのに5分くらいかかりそうですが、そうすると浮上するのが遅くなってノンストップ・リミットを超えてしまいます。ということは、水面に出る前に _____ をして、体内の窒素レベルを許容範囲内に戻さなければなりません。
 - a. 安全停止
 - b. 緊急減圧停止
7. ダイビングを終えてボートに戻ってきたところで、2人のダイバーが間違っ て緊急減圧停止をしないで上がってき ましたことに気付きました。2人は _____、少なくとも24時間はダイビングをしては いけません。
 - a. 水にもう一度入って減圧停止をして
 - b. 運動して水分を摂り
 - c. 酸素を呼吸し、減圧症の症状が出ないか様子を見て
8. 緊急減圧停止をしなければならない状況で、空気が残り少なくて、緊急減圧停止を最後までできないことに気がつきました。この場合はどうすればよいですか？
 - a. 空気がなくなるまで停止し、コントロールされた緊急スイミング・アセントで浮上する
 - b. まったく停止しないですぐに水面に出る
 - c. できる限り長く停止するが、安全に水面に浮上してエキジットできる分の空気は残す
9. ダイバーに減圧障害の疑いがある場合には、どうすればよいですか？
 - a. 呼吸しているかどうか確認し、必要に応じてCPRを行なう
 - b. 救急隊に連絡する
 - c. できるだけダイバーを座らせる、または立たせる
 - d. 酸素を与える
10. 減圧障害の場合は、ほぼすべての症例で _____ での治療が必要です。
 - a. 水中 c. 気泡を溶かす薬
 - b. 再圧チャンバー
11. ダイビング中、物事を明瞭に考えることができなくなっているように感じました。どうすればよいですか？
 - a. 注意しながらダイビングを続ける
 - b. バディに合図して、浅い深度へ移動する
12. 標準的な水中コンパスの場合、磁石の針は _____。
 - a. 北を指す c. 逆方向で南を指す
 - b. 自分の進行方向を指し示す d. ない
13. コンパスを使って直線をナビゲーションしたい場合には、行きたい方向へ _____ を向け、 _____ を回して _____ をに合わせます。
 - a. ラバーライン、磁石の針、方位目盛り、ベゼル
 - b. 磁石の針、ベゼル、インデックスマーク、ラバーライン
 - c. 方位目盛り、ベゼル、ラバーライン、磁石の針
 - d. ラバーライン、ベゼル、インデックスマーク、磁石の針
14. 私はPADIオープン・ウォーター・ダイバーとして、最大深度 _____ (または実際に経験した深度) まで潜るトレーニングを受けます。
 - a. 12メートル c. 24メートル
 - b. 18メートル d. 30メートル

生徒ダイバー声明：私は答えを間違えた問題についてすべて説明を受け、間違えた部分を理解しました。

氏名 _____ 日付 _____